

第10章 自然環境

第1節 自然環境の保全

(1) 兵庫県・三田市の指定による保全地区

ア 県立自然公園

清水東条湖立杭県立自然公園は、三田市、西脇市、加東市、丹波篠山市に及ぶ8,850haについて指定されています。三田市は大字藍本及び大字大川瀬の各一部、計778haが含まれます。

大川瀬にある大川瀬溪谷・大川瀬滝の河食は、兵庫県内においても価値のある貴重な地質です。

イ 県自然環境保全地域

兵庫県環境の保全と創造に関する条例に基づき、駒宇佐八幡神社（三田市上本庄）10haが昭和50年3月11日に自然環境保全地域に指定されています。

ウ 植物群落

兵庫県は、数ある植物群落のうちで、原生林や湿原など学術上重要なものや保護の必要なものを特定植物群落として選定しています。そのうち「原生林もしくはそれに近い自然林」として、駒宇佐八幡神社（三田市上本庄）のコジイ林が選定されています。

この他にも、八坂神社（三田市波豆川）のコジイ林や御霊神社（三田市貴志）のツクバネガシ群落等が貴重な植物群落として、兵庫県版のレッドデータブックにおいて指定されています。

エ 県指定天然記念物

大舟寺（三田市波豆川）のカヤが指定されています。

皿池湿原群及びその周辺地域が、平成31年3月12日に市指定から県指定天然記念物になりました。

オ 市指定天然記念物

県立有馬富士公園内のナツツバキ個体群が平成28年6月30日に指定されています。

カ 近郊緑地保全区域

北摂連山近郊緑地保全区域として790haが指定されています。



大舟寺のカヤ



皿池湿原群

(2) 兵庫県版レッドデータブック (県RDB)

兵庫県版レッドデータブック2011(地質・自然景観・生態系)、同2020(植物・植物群落)により、市内の重要な自然として以下のものが指定を受けています。

分類	地域	ランク類
生態系	○有馬富士公園及び周辺	C
	○皿池の湿原群	A
	○武庫川上流域	A
植物群落	○相野・皿池湿原 湿地植物群落	A
	○小柿 池沼植物群落	B
	○波豆川・八坂神社 コジイ群落	C
	○上本庄・駒宇佐八幡神社 コジイ群落	C
	○貴志・御霊神社 ツクバネガシ群落	C
	○上槻瀬・高平ナナマツの森 コナラ-アベマキ群落他	C
	○香下 チガヤ群落	C
	○東本庄 湿地植物群落	C
	○下青野・青野川青野ダム流入部 河辺植物群落	C
	○西野上・武庫川 河辺植物群落	A
	○加茂・青野川 河辺植物群落	A
	○上槻瀬・七松新池 池沼植物群落	C
	○上槻瀬・昭和池 池沼植物群落	C
	○上槻瀬 池沼植物群落	C
	○小柿・栗田大池 池沼植物群落	C
	○小柿 池沼植物群落	C
	○大川瀬 池沼植物群落	C
	○藍本 池沼植物群落	C
	○大川瀬 岩上植物群落	C
	○乙原 岩上植物群落	要注目
○山田ダム 岩上植物群落	要注目	
○小柿 岩上植物群落	要注目	
○沢谷 ナツツバキ個体群	C	
○福島・県立有馬富士公園 ナツツバキ個体群	C	
地質	○大川瀬溪谷、大川瀬滝、大川瀬断層	B
	○富士が丘 化石	B
自然景観	○羽束川溪谷	C
	○羽束山	C
	○大川瀬溪谷・大川瀬ダム	C
	○有馬富士	C
	○駒宇佐八幡神社の森	C

Aランク：規模的、質的にすぐれており貴重性の程度が最も高いもの。

Bランク：Aランクに準ずるもので、貴重性の程度が高いもの。

Cランク：Bランクに準ずるもので、貴重性の程度がやや高いもの。

要注目：貴重なものに準ずるものとして保全に配慮すべきもの。

(3) 三田市版レッドデータブック「未来に伝えたい三田の自然～生態系レッドデータブック」

平成8年度から市内の動植物調査や生態系調査等を行い、平成14年度に各生態系の重要度評価及び構成要素等について策定委員会において、三田市版レッドデータブック「未来に伝えたい三田の自然～生態系レッドデータブック」を作成しました。

このレッドデータブックでは、重要な生態系として小生態系94か所と中生態系43か所を選定し、それぞれ評価を行いました。その結果、小生態系ではAランク17か所・Bランク15か所・Cランク61か所・要調査1か所、中生態系ではAランク8か所・Bランク9か所・Cランク23か所・要調査3か所となっています。

【小生態系Aランク】 山田の水田、大谷・須磨田・川原・畦倉・ナナマツの森のため池
大谷・山田・波田岩倉・須磨田の草原、皿池・福島の湿原
皿池上・畦倉の湿性林、大川瀬の河川岩上、
野外活動センター上・山田滑谷ダムの岩上地

【中生態系Aランク】 大谷・福島 of 農村環境、山田のバッドランドと農村環境、皿池の湿原群
畦倉の放棄水田、下青野の河川植生、羽束川溪畔、有馬富士の里山

ランクA：県や三田市レベルで重要な生態系

ランクB：生態系を維持する上で核となる重要な生態系

ランクC：小学校区内の生態系を維持する上で核となる重要な生態系

要調査：重要な生態系として抽出されたが、情報が不十分な生態系



羽束山

(4) さんだ生物多様性保全計画の策定

①環境審議会部会（さんだ生物多様性保全計画策定部会）の開催（令和4年度）

環境審議会部会委員8人（任期：令和4年7月21日～令和5年8月14日）

	日時	議事内容（抜粋）	出席者数
意見聴取会	令和4年7月25日 10時～12時	・戦略の策定方針の検討 ・市民アンケート内容の検討	4人
第1回	令和4年9月30日 17時～19時	・施策体系 ・具体的取り組みの検討	8人
第2回	令和5年1月26日 17時～19時	・計画期間および目標・ビジョン案の検討 ・具体的取組みの検討	7人

《計画策定の目的》

生物多様性がもたらす自然の恵みは私たちの暮らしを支えており、全ての生命の基盤となっています。人が自然と共生しながら恵みを享受してきた場が里山です。里山の多様で美しい自然環境、景観及び生活文化の価値をすべての人が共有し、協働して守り、育み、さらに魅力を高めることにより、里山からの恵みがあふれ、人と自然が共生するまちづくりを目指すため、「さんだ生物多様性保全計画」を策定作業中です。

《計画の位置づけ》

本計画は「生物多様性基本法」第13条に基づく、三田市域の生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する基本的な計画です。あわせて「三田市環境基本条例」に基づく「三田市環境基本計画」及び「三田市里山と共生するまちづくり条例」に基づく「里山の保全と活用に関する行動計画」の個別計画としても位置付けています。